

赤血球沈降速度検査のご案内

当センターにて即日検査できます

古くから用いられた炎症マーカーの一つであり、初診時のスクリーニング検査、慢性炎症性疾患の診断に利用されています。

測定原理

- 赤血球の表面は負に帯電しており、電気的反発力により凝集塊の形成が妨げられています。赤血球数が増加すると、赤血球同士が反発しあうことで血沈が遅延します。
- アルブミンは負に帯電しており、赤血球同士を反発させることで凝集を妨げます。これにより血沈が遅延します。
- 炎症により正荷電を持つ蛋白質が増加し、赤血球の電荷が打ち消され、赤血球の凝集が促進されます。これにより血沈が亢進します。

異常値を示す疾患

亢進：感染症、炎症性疾患、多発性骨髄腫、肝硬変、ネフローゼ症候群 など

遅延：DIC、線溶亢進、無フィブリノゲン血症 など

採血時の注意



① 専用採血管：3.2%クエン酸ナトリウム 0.32mL 入り採血管

② 1.28mL 採血（白い2本線内）

③ 管が細いため、ゆっくり転倒混和をする

※ 採血後なるべく早く（4時間以内）検査することが望ましいとされています

報告値：1時間値、2時間値（ご希望があれば30分値も可能です）

食塩摂取量のご報告について

6/13受付分より、患者様の身長・体重を医療機関様控の報告書に記載いたします。